



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和4年7月20日(水) 発行 第4号

『3人の煉瓦を積む職人の話』

校長 田代 雅規

これは、イソップの寓話です。秋の陽射しの中で、ヨーロッパのある街を一人の男が旅をしていました。建築現場で黙々と煉瓦を積み上げている3人の職人に目がとまり、旅人は声をかけました。

旅人は、最初の職人に「あなたは、どのような思いでそのたくさんの煉瓦を積み上げているのですか?」と尋ねました。最初の職人は、「思いなんてないね。目の前にあるたくさんの煉瓦をただ積んでいるだけだよ」とぶっきらぼうに答えました。

旅人は、2人目の職人にも尋ねました。2人目の職人は、「私は収入を得るためだ。煉瓦1個につき幾らとお金がもらえるからね」と答えました。

旅人は、3人目の職人にも同じ質問をしました。そして3人目の職人は、「私は、この建物を後世に残したいのですよ。この建物に集う人々のことを考え、歴史に名を刻む大聖堂を作りたいのです。」と答えました。三者三様の答えです。

見た目は同じ仕事をしていても、それぞれの仕事に対する目的や意味合いがまったく違ってきます。そしてそれはきっと、仕事の成果にも影響しているのではないのでしょうか。煉瓦を積むこと自体を目的だと思って仕事をする職人よりお金のために少しでも多くの煉瓦を積むことを目的としている職人の方がより多くの煉瓦を積むと思います。しかし、後の時代にその大聖堂に集う人々のことを考え、煉瓦を積んでいる職人の魂のこもった仕事には、完成度も含め敵わないのではないのでしょうか。

私たちが、煉瓦積みを依頼する立場だったとしたら、頼みたい職人は誰でしょうか。たとえ煉瓦を積むという単純な作業であったとしても、施工主の立場や思いを理解して心のこもった仕事をしてくれる職人に頼みたいのではないのでしょうか。

この3人の煉瓦職人の10年後の姿はどうなっていたのでしょうか。1人目の職人は、相変わらず文句を言いながらレンガを積んでいました。2人目の職人は、賃金は高いけど危険のともなう屋根の上でレンガを積んでいました。3人目の職人は、現場監督として多くの職人を育て、出来上がった大聖堂には、彼の名前が付けられたと言います。

2年生は、6月に職場体験に行きました。地域の方々のご協力もあり、コロナ禍の中で45の事業所に行くことができました。3年生も、そろそろ進路の目標を決める大切な時期となりました。上級学校への進学を考えるだけでなく、その先の将来の職業を見据えた進路選択が大切です。これから先、取り組もうとしている仕事へどのような意識をもっているのでしょうか。同じ仕事をするにしても仕事の中にできるかぎりの価値と意識をもってほしいと思います。中野中生には、生活のためだけに仕事をするのではなく、3人目の煉瓦職人のように「目的意識」や「相手意識」をもって仕事のできる人になってほしいと思います。



見ればわかるだろう?
レンガを積んでるんだよ



家族を養うために
レンガを積んでるんだよ



歴史に残る大聖堂を
造ってるんだよ



<生徒の感想>

- とても有意義な修学旅行になりました。修学するのはもちろんのこと、楽しむこともできて本当に良かったです。宿舍のメンバーの意外な一面なども知れて、今まで以上に仲良くなれたし、班行動でもそう感じられました。1・2年から次々と行事が潰れてしまっていたなかで、今回最初で最後の修学旅行ができて良かったです。
- 班のみんなで協力できて仲を深めることができ良かったです。また、iPadでたくさん写真を撮って思い出に残るようにできたことが嬉しかったです。初めての京都ですごく暑かったけど、いろいろなところに見学に行けて良かったです。あっという間の3日間でした。
- 中学校になって初めての宿泊行事で、何もかもが全てはじめてのことだらけでしたが、楽しかったです。京都・奈良は歴史で習ったことがたくさん生かされたと思えばより学びを深くすることができました。もっと、勉強してくれば良かったと少し後悔していますが、世界遺産や重要文化財など、貴重なものをたくさん見れて感動しました。暑くて大変だったけれど、抹茶アイスは冷たくて美味しかったです。楽しい時間を過ごせました。
- 今回の修学旅行が、中学校生活で最初で最後の宿泊行事だったので、少し寂しさも残りますが、最後の最後に学年全員で宿泊行事を実施できて本当に良かったと思います。中学校生活の中で、宿泊行事が1回しかなかった分、今回の修学旅行が中学校生活の中で一番の思い出になると感じました。また、新型コロナウイルスの影響もあって、今年の3年生は思い出が比較的少ないと思います。ですから、開校10周年であり、3年生にとっての中学校生活最後の1年、思い出をたくさん残そうと思います。
- ゼロからルートや行き先を自分たちで決めていくというのは初めてで、間に合わなかったり時間が余りすぎてしまったりしたこともあったけれど、それでもとても良い経験になりました。歴史や地理、美術で習ったことも多く、楽しみながら歴史や文化を感じ、学習することができて良かったです。中学校生活最初で最後の修学旅行で、黙食など通常ならできていたこともできなくなってしまったことが多く、正直悔しかったところもあったが、いろいろなことができないなりに工夫して充実した時間を過ごすことができました。今回は、タクシーを使わせてもらったり、舞妓さんに質問ができたり、この先ないような経験もできたのでしっかり記憶に刻んでおきたいと思います。



6月28日(火)~30日(木)の2泊3日で、京都・奈良に修学旅行に行きました。

まだまだ、新型コロナウイルスの感染が終息したわけではなく、心配な点もありましたが、食事の方法や部屋での対応等、感染防止に努め、実施できました。特に3年生にとっては、中学校生活で初めての宿泊行事でもあり、暑い京都・奈良でしたが、暑さに負けず楽しい修学旅行となったようです。



CAREER DAY NAKANO

職場体験



サミット・江原町店

6月28日(火)～30日(木)の3日間で、2年生は職場体験を実施しました。新型コロナウイルスの影響もありましたが、多くの事業所の方々にご協力いただき、全員が3日間の職場体験を行うことができました。

働くことの大変さだけでなく、挨拶や言葉遣い等、基本的なことを改めて教えていただきました。生徒たちは、学ぶことの多かった職場体験でした。



中野警察署



オリンピック・高円寺

■生徒の感想

○職場体験の活動を通して働く人のやりがい、喜び苦勞を知り、広い視野で考えることができました。社会の中で活動することにより、適切な言葉遣いなどの社会性を学ぶ機会になりました。

これから目標を決めていき、日々の生活を意欲的に送るようにしたいです。

○最初は、ペアの人、職場の人、お客さんと仲良く接することができるか不安だったけれど、3日間を通して全然心配いらなかったと感じました。

周りの人がいつも思いやりをもって接してくれたからだと思います。新しいことにチャレンジするのは不安もありましたが、1回やってみたらそんなこともないかもしれないと思いました。

○今回の職場体験は、とても楽しかったです。難しかったことや大変だなと思ったことはたくさんあって、大人の人はずいになって思いました。自分はまだ中学生だから将来について考えることは多くはないけれど、自分の将来についてじっくり考えたり、自分が何をしたいのかを考える時間は、すごく大事なことなんだと全体を通して感じました。これからは、自分の将来について考える時の参考になる職場体験でした。



大竹餃子・中野坂上店



国際短期大学



新井薬師児童館

道徳授業地区公開講座



7月9日(土)の学校公開日に全学年で道徳授業地区公開講座を実施しました。今年度は、D(19)「生命の尊さ」を全学年の共通の内容項目に設定しました。

1年生は「いのちって何だろう」という教材を使い、自分の勝手にならないいのちについて改めて考えました。

2年生の教材は「書かれなかった遺書」です。御巣鷹山ジャンボ機墜落事故の遺族同士の交流や慰霊登山から命の連続性について考えました。



3年生は「人間の命とは一人間の生命の尊さ・大切さを考える」をもとに尊厳死という難しいテーマに向き合いました。

どの学年も意見交流がよくできていた道徳の時間でした。たった1つのいのちだからこそ大切にしたいという気持ちをこれからも持ち続けてほしいと思います。

中野区・合同進路相談会



7月9日(土)の午後に中野中の体育館で、中学校長会と中P連の主催で合同進路相談会を実施しました。

当日は都立高校、私立高校合わせて35校の参加があり、予備調査で人気の高かった学校は、教室を活用して入れ替え制で説明が行われました。

当初の予定では、麒麟レモンスタジアムで実施予定でしたが、参議院選挙のため、会場の中野中に変更しました。

中野中の会場を使用するため、中野中は、1・2年生の生徒や保護者の方の参加も認めていただきました。中野中は、合計400名近くの参加がありました。

生徒たちは、暑い中でしたが、真剣に高校の先生の説明を聞いていました。3年生には、良い目標ができたと思います。